

マタニティヨガ、ベビーマッサージのお知らせ

健康係【☎028(677)6042】

妊婦さんや赤ちゃんのリラックス・交流のために、ぜひご参加ください。事前予約が必要となりますので、お電話にてお申し込みください。

【マタニティヨガ】

- 対象/妊婦
- 場所/保健センター
- 期日/5月21日(火) 13:20 受付
- 持参物/母子健康手帳、バスタオル、飲物

【ベビーマッサージ】

- 対象/生後3～7カ月の赤ちゃんと保護者
- 場所/保健センター
- 期日/5月23日(木) 13:20 受付(初回参加者)
13:50 受付(2回目以降の人)
- 持参物/母子健康手帳、バスタオル、飲物(ミルク、白湯など)

平成25年度「腰痛・膝痛改善教室」日程

健康係【☎028(677)6080】

場所: 芳賀町B & G 海洋センター(現地集合)

時間: 受付、血圧測定など 9:30～
運動実践 10:00～

対象: 65歳以上

定員: 20人

講師: 健康運動指導士(日本水泳振興会)

その他: 水着、キャップ、飲み物、バスタオル、運動靴
腰痛・膝痛をお持ちの人で、「痛みを軽減したい」「腰や膝に負担をかけずに運動をしたい」という人はぜひご参加ください。

No	月日(曜日)	時間	内容
1	5月31日(金)	9:30～11:30	オリエンテーション 体力測定 水中運動
2	6月7日(金)	9:30～11:30	水中運動
3	6月14日(金)	9:30～11:30	水中運動
4	6月21日(金)	9:30～11:30	水中運動
5	6月28日(金)	9:30～11:30	水中運動
6	7月5日(金)	9:30～11:30	水中運動
7	7月12日(金)	9:30～11:30	体力測定 水中運動
8	7月19日(金)	9:30～11:30	個別結果説明 水中運動

血圧、握力、
バランスなどを測定します。

第9回栃木県障害者スポーツ大会の参加選手募集

健康係【☎028(677)4711】

対象者 平成25年4月1日現在で満12歳以上の県内に居住する身体障害者および知的障害者

期日 9月29日(日)

場所 栃木県総合運動公園ほか

競技種目 陸上競技、卓球、水泳ほか

申込期間 5月15日(水)～5月31日(金)

フッ素塗布のお知らせ

健康係【☎028(677)6042】

日時 5月19日(日) 9:00～11:00

場所 保健センター

内容 歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布

対象 小学1～6年生

料金 無料

持参物 歯ブラシ、コップ、タオル

申込み 電話予約: 5月1日(水)から開始
(30分ごと20人ずつの予約制)

5月乳幼児健診・予防接種相談

健康係【☎028(677)6042】

場所: 保健センター

乳幼児健診	月日(曜日)	備考
4ヵ月児健診	5月8日(水)	平成24年12月生
6ヵ月児相談	5月8日(水)	平成24年9・10月生
10ヵ月児健診	5月15日(水)	平成24年6・7月生
1歳6ヵ月児健診	5月17日(金)	平成23年10・11月生

予防接種	月日(曜日)	備考
BCG集団接種	5月10日(金)	平成24年5月12日～平成25年2月11日生 予約制

相談	月日(曜日)	時間	備考
栄養相談	5月14日(火)	9:00～15:00	予約制
こころの相談	5月13日(月)	13:00～17:00	予約制
	5月22日(水)	9:00～13:00	

芳賀町将棋愛好会 (会長 小林英夫)

問 生涯学習センター

☎028(677)0306

活動日 毎週 水曜日・土曜日
10:00～16:00

活動場所 生涯学習センター娯楽室

今回は、将棋をこよなく愛する将棋愛好会です。愛好会の発足は、平成22年1月と意外と新しく、発足当時は11人からスタートしましたが、現在は28人と徐々に増えています。メンバーは毎週、時間になると集まり、思い思いに相手を見つけて対戦がスタートします。食事をとることを忘れるくらい夢中で将棋を指すほど将棋が好きという方が多く、仕事の第一線を退き、頭の体操をして認知症対策をしているメンバーもいます。会場の娯楽室は、張りつめた空気の中、時折笑い声が響き和やかな雰囲気がある楽しいところです。将棋をやってみて、趣味を増やしたいなど興味がある方ももちろん、腕に覚えのある方はぜひ一度、生涯学習センターに足を運んでください。お待ちしております。



集まれ趣味仲間

今回は、将棋をこよなく愛する将棋愛好会です。

ふるさと「ぼれ話」打越新田村の誕生

江戸時代の前半は、全国的に新しい田畑の開発が進む大開発時代といわれる。なかには開発した田畑を基盤に新たに一つの村ができる場合があった。芳賀町では打越新田村がそれにあたる。

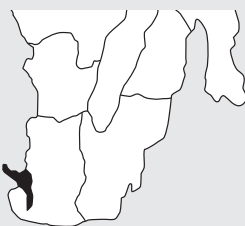
打越新田村は、西高橋村南西部の台地を貫く幅100メートルほどの沢地が村域である。この百姓は沢の東側台地に整然と屋敷をかまえ、沢地と周辺部の田畑耕作をしている。

打越新田村の名主大関家の由緒書には西高橋村の住人大関治郎左衛門が承応元年(1652)に新田を開いたとある。大関家が音頭をとり、西高橋村と氷室村の百姓が汗を流して新田開発を進めたのである。開発の主導者であった大関家は、そのまま新田村の名主となった。

明暦3年(1657)には宇都宮藩の検地を受け、田6町2反1畝歩、畑・屋敷地7町3反3畝24歩が検地帳に登録された。打越新田村が誕生したのである。

明暦3年の検地帳には10人の名請人(検地帳に登録された田畑の所有者)が登場し、そのうち7人が屋敷地を所有している。この7人が開発の主体で、すみかを移して打越新田村を誕生させた百姓たちであった。

打越は馬の左から鐙(あぶみ)に足をかけてまたがることを意味する。西高橋村の低地から台地を上った向こう側の低地を開発したこと、鐙部のような地形が打越新田村の名前の由来と考えられている。いま一つ、氷室村打越の百姓が新田開発に深くかかわったからという説もある。



▲打越新田位置図